



出発！  
新生たっぷく組



**法被を新調**  
はっぴ  
3年ぶりに開催された田原祭りに田原福祉グローバル専門学校として初めて参加しました。また、福寿園をはじめくむ会「未来」からご支援いただき、背中に学校のロゴマークを施した法被を新調しました。

## たっぷくに新しく仲間入り！ 日本語学科とたっぷく児童クラブを 開設しました。

### 日本語学科

今年度開設された日本語学科は、4月から1年コースが始まり5名のベトナム人留学生が在籍しています。10月からは6か月コースと1年6か月コースもスタートします。国籍もフィリピン、インドネシアと増えます。ますます「グローバル」になっていきます。



専任教員 正岡 智絵  
学生のみならず元気でパワーを分けてもらっています。田原市の楽しいところ、きれいなところを学生と一緒にエンジョイしたいです！



### たっぷく児童クラブ

令和4年4月、専門学校2階の椿ホールに、田原市初となる民間の放課後児童クラブが開設されました。対象児童は、童浦小、衣笠小、神戸小、中部小に在学する1年生から6年生で、定員は40名となっています。現在33名が利用しています。祝日にも営業しており、1日開所の日には、お昼に学食カフェのご飯を提供しています。育ち盛りの子にとっては栄養も考えられ、おいしいと大好評です。普段はブロックや人形、カード



専任教員 浅野 琴音  
趣味は旅行と知らないことを学ぶこと。この春から手話の勉強を始めました。覚えるより忘れるほうが早いですが……学生の皆さんと同じ気持ちでがんばります！

目指せ登録 200人 /

## たっぷく同窓生 LINE

たっぷく同窓会LINEオープンチャットを開設しています。ぜひ登録を!!

登録氏名は「〇期生xx(略称可)」

主任支援員 山下 友理  
民間ならではの強みを生かし、様々な経験を過ごせるよう、計画していきたいと思えます。同窓会員の皆様もいつでも見学にいらして下さい。元気な子どもたちとお待ちしております。



ゲーム、将棋などのおもちゃで遊んだり、プラ板やアイロンビーズ等の制作物をしたりして過ごしています。初めての夏休みでは、1日ごとにイベントを行い施設のお年寄りやたっぷく生、地域の方々との交流会や外出を実施しました。子どもたちにとっては、普段できないことも行い、笑顔も多く見られ良い経験になりました。ここでの生活を通して、学校生活・家庭生活も充実した日々を過ごしてほしいと思えます。

### 退任・転出職員



専任教員  
河合 生恵

たっぷくでの日々は、私の心に鮮やかに残っています。学生の優しい笑顔、成長していく姿がとても励みになりました。多くの方との出会いを通して、様々な愛や福祉、尊厳の理解が深まりました。今は、80代90代の方と関わり、成熟された知恵と工夫を知り、勉強の毎日です。何が起るかわからない時代ですが、だからこそ、人生の冒険を楽しんでいきたいと思えます。9年間どうもありがとうございました。

### 新任職員紹介

今回は自己紹介

田原福祉グローバル専門学校の新任職員を紹介します。



事務員 平原 雅江

はじめまして。グローバルに活躍する若い力を応援し、そのパワーに負けないように身体を張らせていただきます！

事務員 中立 和宏

アニメが好きで、家ではゲームばかりしている根っからのインドア派です。



会長あいさつ  
西野優子



令和2年6月の暑い日に車の中から聞こえてきた「ニャー」という鳴き声から我が家の猫騒動は始まりました。

慌てて捜索しボンネットの中から出てきた小さな仔猫をどうするか家族会議の結果、我が家に迎え入れることになったわけです。

しかし問題もありました。家族に2人も猫アレルギーがいます。動物を室内飼いするのも初めてです。噂通り荒らされるのを覚悟しましたが、年季の入ったカーテンがボロボロになる程度で済みました。

その後、途端に家の中がきれいに片付き始めます。自然に家族の会話も増えます。折しもコロナ禍真っ最中だったこともあり、仔猫のおかげで自宅で過ごすこともそれほど苦痛ではありませんでした。

仔猫の仕草、鳴き方、食欲でご機嫌を伺い、好みを推し測る。言葉が話せたら何を考えているのかわかるのになあ。と思いながら非言語のコミュニケーションで何とか関係性を築く日々

に自分の仕事を重ねてみたりしては多くあり、それに気づくことができるかが成長の鍵になるのだと思います。

我が家に来てくれた仔猫からも多くの学びと命の責任を学んでいます。何を感じているかわかってあげられないことも多いですが、「幸せだなあ」と思っていてほしいと願っています。

案の定、猫グッズは増殖中です。

# TAPPKU 学校 NEWS



## 日本語学科開設式・ 令和4年度入学式

4/4

令和4年4月、日本語学科の開設式と田原福祉グローバル専門学校として2回目となる入学式が行われました。日本語学科の5人、介護福祉学科26人、計31人が新たなスタートを切りました。

## 田原祭り

9/17

たつぷく組として総勢59人で参加し、すべてが初めての体験となり、とても良い思い出となりました。「先憂後楽」の4字熟語が描かれた行燈を担ぎ、学校周辺を練り歩きました。 ※先憂後楽：民衆が心配するより先に心配し、民衆が楽しんだ後に楽しむという意味



また、新町、本町、萱町の昼山車の余興に参加し、初めて山車を引きました。最後に巴江神社にて余興に参加



ました。ソーラン節とハンドクラップを披露し、アンコールをいただき巴組の皆さんと盛り上がりました。



## たつぷく卒業生が活躍している施設を紹介しします

今回は  
社会福祉法人成春館  
を紹介



理念  
あなたにより添います  
愛と心とてのひらで

### ◎成春館の目的

自律的な生活への手助けと社会的な孤独感の解消、心身機能の維持向上につとめるとともにご家族の身体的・精神的な負担の軽減をはかることを目的としています。

## 卒業生からのコメント

- 8期生 中谷** 利用者の方の変化のある毎日に刺激を受けて働いています。今後もお役に立てればと思います。
- 24期生 木戸** 卒業生が多く、相談がしやすい職場です。
- 14期生 藤本** 先輩・後輩関係なく意見を言い合えたり、気軽に相談し合える関係性のできた職場です。
- 25期生 長谷川** 優しい先輩職員ばかりで安心して働ける魅力的な職場です。
- 21期生 東** 障がいの程度によって介助方法が様々で大変ですが、その分やりがいを感じることが出来ます。
- 20期生 大林** 6年目ですが、みんな楽しく働ける仕事場だと思います。職員みんな仲が良いです。
- 22期生 河合** 残業がなく、休日がしっかり取れるためプライベートを充実させることができます。
- 22期生 木戸未来** 毎日、笑顔で明るく利用者さんと関わることを意識して業務に取り組んでいます。楽しい職場なので興味がある方は一緒に働いてくれると嬉しいです。

## 親子割・きょうだい割 はじめます！

たつぷくの開校から26年。同窓生のみなさんから、お様が「今年高校を卒業する…」、「そろそろ進路を考える時期…」という声が増えてきました。

また、たつぷくの特長として、兄弟姉妹で入学してくれる「きょうだいリーダー」が多いというのがあります。

そこで、次年度入学生から、「親子きょうだい割」を始めることにしました。

### 親子割

対象：旧田原福祉専門学校、田原福祉グローバル専門学校の卒業生や在校生の子  
割引額：最大12万円（授業料月額5,000円引）

### きょうだい割

対象：旧田原福祉専門学校、田原福祉グローバル専門学校の卒業生や在校生の妹・弟  
割引額：最大12万円（授業料月額5,000円引）

※2人目以降の入学生も対象となります。  
※ただし、親子割ときょうだい割の併用はできません。



副会長 林正純

第1期生として卒業後、身体障がい者支援施設蔵王苑に立ち上げの年から従事して25年目を迎えました。卒業時は20歳で社会人になるには未熟でした。ご利用者様に人生の多くを教えていただき、「たつぷく」の仲間と助け合いながら現在まで介護職として携わってこれました。そして、職場には、多くの卒業生がいます。今までに学んだ経験を後輩に伝えていく使命を果たしていきたいと思っています。

今もなお、コロナの影響で介護現場やプライベートでも窮屈な思いをしていると思います。「たつぷく」には多くの卒業生がいます。そんな仲間たちと今を乗り越えて当たり前の生活に戻れる日まで頑張りましょう。皆さんには多くの仲間がいることを忘れないでください。

